

ほんの少しの工夫でシロアリから大切な家屋を守れます！

KATO BOCHU / HOME CARE LETTER

シロアリ110番通信

第50回 9月号

発行元：加藤防虫（加藤 真佐己）

〒510-0885 四日市市日永5-7-12

お問合せ：0120-920-464

台風と地震のWパンチを防ぐ

上下をしっかり守り災害に負けない住まいへ

みなさんこんにちは、加藤防虫の加藤です。いつもシロアリ110番をお読みいただきありがとうございます。

朝晩は少しずつ涼しい風が吹き始め、秋の足音が聞こえてくる季節になりました。夏の猛暑を乗り切ったホッと一息つく時期ですが、実は9月は、私たちが1年の中で最も「お家の防災」に気を使っている月でもあります。

先日の熊本での大きな地震、皆さまも本当に驚かれたことと思います。近年はいつ大きな地震が起きてもおかしくない状況が続いていることに加え、9月から10月にかけては1年で最も台風が接近・上陸しやすい時期でもあります。

地震による「揺れ」＋台風による「大雨・暴風」

この2つが重なると、お家の小さな傷みが大きな被害へつながることがありま

す。

今回は、地震と台風のダブルパンチからご家族の大切な我が家を守るために、今すぐ知っておきたい「屋根（上）」と「床下（下）」の総点検法を分かりやすくお伝えします。

なぜ「地震」と「台風」が合わさると危険？

別々の災害に見えても、家屋の構造という視点では恐ろしい「連鎖反応」を引き起こします。

01

1. 地震

瓦がずれたり、外壁に目に見えない小さなひびが入ります。

02

2. 台風

大雨が隙間から侵入し、雨漏りや壁内への浸水を起こします。

03

3. 木材が湿る

腐敗が進み、湿った木が好きなシロアリが集まりやすくなります。

04

4. 強度低下

柱や土台が弱り、次の大きな揺れで倒壊リスクが高まります。

お家を守る鍵は「上からの雨漏り」と「下からの湿気・食害」のダブルチェック

地震と台風が引き起こす「家の弱体化」の連鎖



地震の揺れ

瓦のズレや外壁の小さなひび割れが生まれる



台風・暴風雨

小さな隙間から雨水が家の中へ侵入する



木材が湿る

腐敗が進み、床下や構造材の強度が低下する



シロアリ被害

柱や土台が食害され、耐震性がさらに低下する

ROOF

屋根と外壁（上）の安全チェック

屋根や外壁は、台風の暴風雨や地震の揺れを直接受ける「お家のシェルター」です。屋根に登るのは危険ですので、必ず地上から確認してください。

① 双眼鏡やスマホのカメラで「屋根」を遠目から見る

晴れた日に少し離れた場所から屋根を見上げ、瓦が浮いたりズレたりしていないか確認します。スレート屋根なら、ひび割れや変色、苔などもチェック。地震でわずかに動いた瓦が、台風の強風で一気に吹き飛ぶと二次被害につながります。

② 「雨どい」の詰まりを確認する

枯れ葉や泥で詰まっていると、台風の大雨を処理しきれず水があふれ、外壁や基礎を濡らし続けます。これが目に見えない雨漏りの原因になります。

③ 外壁の「目地（コーキング）」の隙間を見る

サイディング外壁のつなぎ目にあるゴム状のコーキングは、地震の揺れを吸収するクッションです。固くなってひび割れたり、隙間ができたりすると、雨水が壁の中に直接入り込みます。

家を「上」と「下」から守る W点検



YOUR HOME



上 | 屋根・外壁

瓦の浮き・ズレ・ひび

雨どいの詰まり

外壁コーキングの隙間



下 | 床下・土台

床の沈み・きしみ

カビ臭さ・湿気

腐食・水漏れ・食害

FLOOR

床下（下）の点検 — 家を支える「土台」の悲鳴を見逃さない

いくら新しい耐震基準で建てられた家でも、床下がシロアリや腐朽菌でボロボロになっていては、本来の耐震性能を発揮できません。普段の生活で次のSOSサインがないか確認してください。

1

重い家具の横を通ると、床がゆれる・キシむ

タンスや大型冷蔵庫の周りで床がフカフカ沈む、「ギシギシ」と鳴る場合は、床下の根太や土台がシロアリに食べられてスカスカになっている危険信号です。

2

室内がカビ臭い・湿気が抜けない

秋になっても湿度が下がらず、押入れやクローゼットがカビ臭い場合は、床下に水が溜まっている、または給排水管から水漏れしている可能性があります。

ACTION

万が一に備える！「今すぐ防災アクション」

今日からできる 3つの防災アクション



ACTION 01

飛散物を片付ける

植木鉢・サンダル・自転車などを屋内や物置へ。



ACTION 02

避難経路を空ける

廊下や玄関をすっきり保ち、避難の妨げをなくす。



ACTION 03

家の写真を残す

外観・屋根・室内を撮影し、被災時の申請に備える。

01

飛散物を片付ける

植木鉢、サンダル、自転車などは玄関や物置へ。外壁や窓ガラスを守ります。

02

避難経路を空ける

廊下や玄関に物を置かず、地震時に倒れた荷物が避難の邪魔にならないようにします。

03

お家の写真を撮る

外観・屋根・室内を普段から撮影しておく と、被害時の火災保険申請や罹災証明書の発行がスムーズになります。

CHECK

住まいの見張り番として加藤防虫ができること

地震も台風も、自然の力を止めることはできません。しかし、「被害を最小限に抑える準備」は今すぐにでも始めることができます。

「うちの屋根、遠くから見てもよく分からないな」

「地震の揺れがあったら、床下の土台が耐えられるか心配……」

そんな不安が少しでもよぎったら、どうぞ遠慮なく私たちにお声掛けください。加藤防虫はシロアリ防除のプロであると同時に、床下に潜り、お家の骨組みの健康状態を正しく診断する「住まいの見張り番」です。

普段は見えない床下に潜り、土台の腐食やシロアリ被害、給水管の水漏れがないかを徹底的に調査し、写真と共に分かりやすくご報告いたします。

お家の屋根と土台をしっかりメンテナンスして、大雨や大きな揺れにもビクともしない「頑丈な我が家」で、安心の秋を迎えましょう。

COLUMN

シロアリハンター加藤の熱血床下日記

防災バッグで再確認した「お水の備蓄」の大切さ

今回も『シロアリ110番通信』をお読み頂きありがとうございました。「屋根と床下のW点検」、本格的な台風シーズンを迎える前に、ぜひご家族で楽しみながらお家の周りをチェックしてみてくださいね。

さて、今回のテーマは「防災」でしたが、皆さまのご家庭では「非常用の備蓄」って何かされていますか？我が家でも先日、防災バッグの中身をチェックしたのですが、そこで改めて実感したのが「お水の備蓄の大切さ」なんです。

災害対策というと乾パンや缶詰などの食べ物に目が行きがちですが、実は一番困るのが「お水」です。飲むのはもちろん、手や物をサッと流すのにも水がないと本当に不自由します。

POINT | 加藤さん流・備蓄の工夫

箱ごと多めに買って日常的に使い、減ったら買い足す「ローリングストック」がおすすめ。さらに重い水の箱は、地震で落ちてこないよう必ず足元など低い場所に置き、キャスター付きの小回りがきく台車に乗せておくと、掃除や持ち出しがぐっとラクになります。

お家を頑丈に守る準備と、便利に工夫したお水の備蓄。両方が整うと、心に大きな「余裕」が生まれます。この秋、お気に入りのミネラルウォーターとキャスター付き台車をセットで、防災コーナーの仲間入りにしてみませんか？

備蓄品の置き場所に困ったら、不用品の処分からリフォームまで、災害に備えた備蓄ルーム作りもお手伝いいたします。何なりと加藤防虫にお任せくださいね。

加藤

今月の劇的ビフォー&アフター大賞

生垣を取り除いて駐車場の拡張工事

施工前 (BEFORE)



施工後 (AFTER)



生垣があると、お手入れや落ち葉の掃除が大変だと感じられる方が非常に増えています。生垣は目隠しや季節の移り変わりを楽しめる一方で、その分だけ維持管理に多くの手間暇がかかります。そこで、手間のかかる生垣や庭石などを取り除いて、庭や駐車スペースを広く取るのも大変おすすめです。ライフスタイルの変化に合わせて住宅のレイアウトも変えてみられてはいかがでしょうか。

加藤防虫のお庭のレイアウト変更工事・3つのこだわり

① 専門職人の安心施工

専門の腕利き職人が安心施工いたします。

② 最適な提案

ご依頼の経緯をお聞きし、最適の提案をいたします。

③ 処分費用込み

生垣の剪定・伐採後の処分費用も費用に含まれています。



ただ生垣や庭の形を変更するだけではなく、害虫やシロアリの発生を点検し、できるだけ手間のかからないお庭や駐車場にするためのアイデアを加えながら工事いたします。数多くの住宅に出入りした経験を活かし、お客様のご要望にプロのアイデアを加えて、住宅にまつわる様々な問題や課題を一緒に解決いたします。

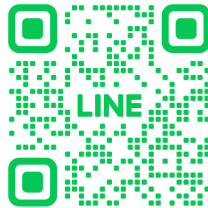
**住まいの見張り番として、
災害に強い我が家づくりを支えます**

シロアリ駆除だけでなく、床下点検・家屋工事・修理修繕・不用品処分など、住まいのお困りごともお気軽にご相談ください。

通話無料・年中無休

0120-920-464

受付 9:00～20:00



加藤防虫 公式サイト：<https://mie-tco.com>

Copyright © 加藤防虫・シロアリ110番通信 All Rights Reserved